

多摩部の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

## 多摩部の公園で見られる春の樹の花



バラ科

### ●ソメイヨシノ (染井吉野)

- 特徴：花が葉より先にさく
  - 花の大きさ：3~4cm
- 3~4月にうすいピンク色の花がさきます。人が作ったサクラで、自然にふえることはできません。公園などにあるものは、全て人が植えたものです。



バラ科

### ●ヤマザクラ (山桜)

- 特徴：赤い葉と同時にさく
  - 花の大きさ：3~4cm
- 3~4月に白~うすいピンク色の花がさきます。日本のサクラで、太さが1m以上になる大きな木もあり、昔から和歌に使われるなど愛されてきました。



バラ科

### ○オオシマザクラ (大島桜)

- 特徴：緑の葉と同時にさく
  - 花の大きさ：3~4cm
- 3~4月に白色の花が3~4個集まってさきます。他のサクラとくらべると花が大きいです。葉にもかおりがあり、さくらもちをつつむのに使われます。



バラ科

### ○ウワミズザクラ (上溝桜)

- 特徴：花のじくに葉がつく
  - 花の大きさ：約6mm
- 4~5月に白い花がブラシのような形に集まってさきます。日本全国の日当たりのよい林で見られます。夏に赤い実がなり、果実酒などに使われます。



バラ科

### ○イヌザクラ (犬桜)

- 特徴：花のじくに葉がない
  - 花の大きさ：約6mm
- 5月にウワミズザクラとよく似た花がさきます。他のサクラよりも木の皮が白っぽく見えます。北海道より南にある日当たりのよい林に多く生えています。



モクレン科

### ○コブシ (辛夷)

- 特徴：花の下に葉が一枚
  - 花の大きさ：6~10cm
- 3月末~4ごろに白い花がさき、花の下に小さな葉が一枚ずつ付いています。都内の丘陵地にふつうにあります。小宮公園には大木があります。



ブナ科

### ●コナラ (小檜)

- 特徴：若葉は銀色に見える
  - 花の大きさ：約3mm
- 4~5月に黄色っぽい花を咲かせます。雌花は葉の根元につき、雄花はひものように集まります。多摩部の林を代表する木で、公園にも多いです。



ブナ科

### ●クヌギ (栲・椴・欒)

- 特徴：若葉は黄色っぽく見える
  - 花の大きさ：約3mm
- 4~5月にコナラとよく似た花をさかせます。葉に針のような細かいギザギザがあります。コナラと同じように、多摩部を代表する木です。

### かお 花の香り

春に咲き始めたたくさんの花。色や形だけでなく、香りを楽しむことができますね。虫に花粉を運んでもらう花にとって、香りは虫を集めるためにとっても大切なもの。ハチはよい香り、ハエはちょっと変わった香りなど、種類によって集まる香りも違ってきます。

一方、コナラやクヌギ、シデの仲間など、風で花粉を飛ばす花は虫に来てもらう必要がありません。そのため、花は地味で香りもないんです。

どんな方法で花粉を運んでもらうか。それによって、花の香りも違ってきているんですね。

# 多摩部の公園で見られる春の樹の花



キブシ科

## ● キブシ (木五倍子)

- 特徴：花はふさのように集まる
  - 花の大きさ：約6~7mm
- 3~4月にうすい黄色の花が下向きにさきます。日本だけにある木で、昔は実をそめ物に使いました。明るい林で見られます。



マンサク科

## ● トサミズキ (土佐水木)

- 特徴：おしべが赤色
  - 花の大きさ：約1cm
- 3~4月に7~8個の黄色い花が下向きにさきます。自然では高知県(昔の土佐)に生え、関東では公園によく植えられています。



モクレン科

## ● レンギョウ (蓮翹)

- 特徴：花はラッパがた
  - 花の大きさ：2~3cm
- 3~4月に黄色い花が、えだいっぱいさきます。中国から入ってきた花で、色いろな場所で育つじょうぶなの木ため、公園のかき根によく使われます。



バラ科

## ● ヤマブキ (山吹)

- 特徴：葉は先が細くギザギザ
  - 花の大きさ：3~4cm
- 4~5月にこい黄色の花がさきます。えだはジグザグにのびてドームがたになり、葉はえだの角につきます。公園のかき根としてよく植えられています。



バラ科

## ● クサボケ (草木瓜)

- 特徴：花びらが丸い
  - 花の大きさ：2~3cm
- 4~5月にオレンジ色の花がさきます。背が低く、みきは根元からよく分かれ、トゲがあります。明るい林に生えますが、公園にもよく植えられています。



ミズキ科

## ● アオキ (青木)

- 特徴：葉はあつくツヤがある
  - 花の大きさ：約1cm
- 3~5月にえだの先に赤むらさき色の花がさきます。直接日が当たらない場所に生えるので、うすぐらい林の下でもよく育ち、病気にもなりにくい木です。



スイカズラ科

## ● ウグイスカグラ (鶯神楽)

- 特徴：花はラッパがた
  - 花の大きさ：1~2cm
- 3~5月にうすいピンク色の花が少し下を向いてさきます。葉はじくが短く、2枚が向かい合っつけてつきます。日当たりのよい林などで見られます。



カエデ科

## ● イロハモミジ (伊呂波紅葉)

- 特徴：葉は手のひらの形
  - 花の大きさ：約6mm
- 4~5月にくらい赤色の花が、えだの先に10~20個集まってさきます。公園では道のそばなどに植えられます。秋には葉が美しい赤色になります。



モクレン科

## ● モクレン (木蓮)

- 特徴：大きな花が上向きにつく
  - 花の大きさ：約10cm
- 3~5月にむらさき色の花が、葉より先にさきます。花は半分くらいひらき、よい香りがします。公園や道路のそばによく植えられています。



マメ科

## ● フジ (藤)

- 特徴：花は大きなふさになる
  - 花の大きさ：1~2cm
- 4~5月にうすむらさき色の花がさきます。つる植物で、他の木に巻きつきながら大きくなります。公園では藤棚で育てられることが多いです。